



兵庫県東播磨県民局
局長 近都 学 さん

地域特性を生かした、 さらに魅力あふれる東播磨へ

本年4月、東播磨県民局長に着任された近都局長に令和8年度の取組についてお話を伺いました。

魅力あふれる東播磨へ

これまで2か所の地方機関で勤務し、本庁ではまちづくり行政に携わっていましたが、東播磨での勤務は今回が初めてですが、実は幼い頃に何度も訪れていた場所です。昔の記憶と重ね合わせながら地域を歩くと、開発や整備が進み、街がよりにぎやかになっていると感じました。また、各地域の取組に触れる中で、自然、産業、食文化など、暮らしに根ざした魅力が随所に息づい

ていることを実感しているところです。
企業の実情に向き合い、地域の未来につなげます

事業者の皆さまとお話すると、資材不足や物価高、人手不足など、本当に厳しい状況に置かれていることが伝わってきます。特に中東情勢の悪化による資材不足は深刻で、兵庫県としては資金繰り支援や相談窓口を設置しますが、県民局としても現場の声を丁寧を受け止め、施策に反映していきたいと思っています。

その一方で、地域の未来を支える人材育成にも力を入れています。今年度も小学生向けの『東はりまの魅力KIDS体験ツアー』や、高校生向けの『東播磨の魅力企業見学バスツアー』を通じて、地元企業の魅力を知ってもらう機会を増やしたいと考えています。地域への愛着が、将来の地元就職につながればと期待しています。

さらに、昨年度のフィールドパビリオンを契機に新たな取組として「地域ぐるみのオープンファクトリー」を始動します。従来の工場見学に加えて体験プログラムを介して、ものづくりの現場を知ってもらい、魅力発信と地域交流を促進します。あわせて、地域の

オープンファクトリー情報を集約した「デジタル・リアルブックレット」も作成し、企業の魅力を広く発信していく考えです。

豊かな自然と農畜水産資源を育みます

東播磨は、多種多様な農畜水産物に恵まれた地域です。都市近郊の立地を活かし、地産地消を更に推進します。具体には、JAによる地元農産物の企業への直接販売支援や、いなみ野メロンの暑熱対策、加古川和牛の普及啓発のためのイベント支援、県立農業高校生による大麦の新商品開発支援など、ブランド力を高める取組を進めています。

そして、東播磨の象徴ともいえる水辺の保全も重要なテーマです。特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」の防除や、ため池の保全、豊かな海の再生に向けたマダコの産卵用たこつぼ設置や二枚貝の放流など、地域の方々と協力しながら、自然環境を守る取組も進めてまいります。

このような地域の特性を生かして、魅力あふれる東播磨の実現を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします！